

平成 28 年度決算

1、はじめに

平成 28 年度は、既存建物並びに医療機器等の経常的な修繕と更新に加えて、西新橋キャンパス再整備に必要な資金を賄える決算を目指して運営されましたが、各機関の経営効率化努力により、基本金組入前当年度収支差額（利益）は予算を上回る結果となりました。

2、資金収支計算書

施設・設備関係支出は 56 億円でした。主な内容は、医療器械 16 億円、建物 13 億円、建設仮勘定 11 億円、ソフトウェア 9 億円、教具・一般備品 6 億円でした。
前年度繰越金は 536 億円でしたが次年度繰越金は 621 億円となり、繰越金は 85 億円増加しました。

3、事業活動収支計算書

収入の部は、医療収入の増加により前年度比 15 億円増加の 1,013 億円となりました。

支出の部は、光熱水費・諸経費等の経費は抑えられたものの、医療経費・人件費・委託費等が増加したため、前年度比では 18 億円増加の 963 億円となりました。

この結果、基本金組入前当年度収支差額（利益）は 50 億円となり、前期比では減益となったものの、予算は達成することができました。

4、貸借対照表

純資産の部の増加 50 億円と長期借入金の増加 137 億円を主要因に 190 億円の資金が出来ましたが、現金・預金として+85 億円が、有価証券として+108 億円が内部留保されました。
純資産の部の合計は 1,440 億円で、自己資金比率は 68%となりました。

5、決算開示方法について

平成 16 年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

以上